

日時：平成 29 年 8 月 5 日 11:48～12:25

場所：校舎棟 M800

1/25 (水) 18:00～19:00

2/22 (水) 18:00～19:15

(3) TV 会議システムの導入

(4) 図書館 AV 機器刷新 (老朽化のため)

### 1. 人事 (大槻運営委員長)

会計担当を原田 保先生→宗 友厚先生に変更すること、名誉会員として小笠原康夫先生、角田 司先生、正木久男先生、山田作夫先生を追加すること、学内評議員として上野富雄先生、加藤勝也先生、戸田雄一郎先生、三原雅史先生を追加し、岸 文雄先生、濱崎周次先生、原田 保先生を削除すること、学外評議員として角田 司先生、伊勢 眞樹先生を削除すること、編集副委員長を宗 友厚先生→宮本 修先生に変更すること、編集委員として青山裕美先生、上村史朗先生、加藤勝也先生、金藤秀明先生、紅林淳一先生、塩谷昭子先生、高尾俊弘先生、中塚秀輝先生を追加し、伊東克能先生、種本和雄先生、通山 薫先生、日野啓輔先生、平塚純一先生を削除することが提案・承認された。

### 2. 臨時運営委員会の報告 (大槻運営委員長)

本年 3/3～3/10 にかけてメールで行われた臨時運営委員会の決定事項が報告された。

- ・編集委員人事について (上記)

- ・講演会謝金の減額について

(10 万円から 5 万円へ。2017 年 4 月 1 日以降申し込み分から)

- ・医学会賞副賞の減額について

(研究奨励賞：30 万円⇒15 万円へ、医学会誌論文賞：20 万円⇒10 万円へ。次年度から)

### 3. 事業報告 (大槻運営委員長)

2016 年度の事業報告が行われた。

(1) 英語論文書き方セミナーの開催

7/27 (水) 17:30～19:00

7/28 (木) 17:30～19:00

7/29 (金) 17:30～19:30

(2) 臨床試験×統計学セミナーの開催

12/4 (水) 18:00～19:00

### 4. 編集委員会報告 (大槻編集委員長)

(1) 刊行状況

平成 28 年度は川崎医学会誌 (和文誌) 18 本、Kawasaki Medical Journal (英文誌) 8 本の論文が刊行された。平成 29 年度は現在のところ、川崎医学会誌に 12 本、Kawasaki Medical Journal に 10 本の論文が査読中を含めて投稿されている

(2) メールアラートの変更

新刊メーリングリスト登録/削除用のボタンを川崎医学会トップページに機能を統一していることが報告された。

(3) Acceptable Secondary Publication

Kawasaki Medical Journal として “Acceptable Secondary Publication” としての投稿を受け付けたことが報告された (例えば、日本語の症例報告の英語版の投稿受け入れ等)。

(4) 著者の所属機関と所在地の記載方法の変更  
著者の所属機関と所在地の記載方法の統一が難しいケースが出てきたため、記載方法を変更したことが報告された。

### 5. 医学会講演会 (長洲運営委員)

(1) 謝金の変更

謝金を 10 万円⇒5 万円に減額することが報告された。

(2) 平成 28 年度実施状況

計 27 回の講演会 (学外講演者 22 回、学内講演者 5 回【うち川崎医学会受賞講演会 1 回、新任教授講演会 4 回】) が行われたことが報告された。

(3) 平成 29 年度実施予定

開催予定を含めて既に 13 回 (学外講演者 9 回、学内講演者 4 回【うち川崎医学会受賞講演会 1 回、新任教授講演会 3 回】) が決定していることが報告された。

### 6. 会計 (佐々木運営委員)

(1) 平成 28 年度決算案

各項目が説明され、会計監査で適正と判断されたことが報告され、承認された。支出において、セミナー開催費、備品購入費、機器更新費等の高額な支出があったため、特別会計の三菱東京 UFJ 銀行の定期預金の約 1,000 万円を一般会計に移管した。これにより、特別会計の残高は約 2,000 万円となった。

(2) 平成 29 年度予算案

今年度以降、特別会計の一般会計への移管は行わず、支出を最小限に抑えた予算となることが説明され、承認された。

**7. 川崎医学会賞** (大槻運営委員長)

**研究奨励賞**：大学・研究委員会より

**清水里紗 先生**

対象論文：Sphingosine-1-phosphate receptor 1 as a prognostic biomarker and therapeutic target for patients with primary testicular diffuse large B-cell lymphoma. *British Journal of Haematology* 174(2):264-274, 2016

**医学会誌論文賞**：医学会・編集委員会より

**松野岳志 先生**

対象論文：シナプスマーカーVGLUT1, VGAT を用いた嗅球神経回路の新たな形態学的解析.

*川崎医学会誌* 42:127-142, 2016

**岡 大五 先生**

対象論文：Sphingosine-1-phosphate receptor 1 expression in angiosarcoma: Possible role in metastasis and a potential therapeutic target.

*Kawasaki Medical Journal* 42:31-45, 2016

上記受賞者 3 名のうち、清水里紗先生は、本総会後に、松野岳志先生及び岡 大五先生については閉会式前のセッションにおいて受賞講演をして頂くことが報告された。

文責：庶務 橋本